



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butstryu.or.jp

News Release

平成30年3月28日

平成29年度 第2回物流環境対策委員会を開催

(一社)日本物流団体連合会(田村修二会長)は、3月23日(金)、全水道会館(文京区本郷)において、平成29年度第2回物流環境対策委員会(委員長:日本貨物鉄道株式会社 取締役兼常務執行役員 玉木良知氏)を開催した。

委員会開催に先立ち、有限責任監査法人トーマツ アドバイザリー事業本部 シニアマネジャー 奥村剛史氏による『ESGの潮流にどう対応するか?』と題した講演会が、多数の会員企業の参加を得て開催された。

講演会では、昨今話題となっている「ESG」についての基本的な部分や、ESG経営の実践についてのほか、最新の動向や事例などが紹介された。

物流環境対策委員会では、冒頭、松田事務局長、玉木委員長の挨拶に続き、審議が行われた。

まず、平成29年度の活動報告について、第16回グリーン物流パートナーシップ会議、第18回物流環境大賞、第4回モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰について結果が報告された。また、大規模施設対策等小委員会については、国土交通省より『物流を考慮した建築物の設計・運用について～大規模建築物に係る物流の円滑化の手引き～』が公表されたことから、小委員会活動を終了したことが報告されたほか、環境省が推進する「COOL CHOICE」運動について、引き続き「低炭素物流作業グループ」に参画していることが報告された。

続いて、平成30年度の活動計画について、第17回グリーン物流パートナーシップ会議、第19回物流環境大賞、第5回モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰については、例年通りのスケジュールで選定・表彰を行っていくことが提案された。また、環境省主催の「低炭素物流作業グループ」については、引き続きその参画を通じて、特に宅配便再配達防止キャンペーンについて協力していくこと、2020年東京オリンピック・パラリンピック輸送問題については、その情報収集・影響の把握に努めることが提案され、活動計画は原案通り了承された。

最後に、第19回物流環境大賞の応募状況と今後のスケジュールが説明された。

次回の委員会は本年9月頃の開催を予定している。



講演会の様子



物流環境対策委員会の様子

以上
事務局 喜多